

令和6年度における県の実施状況

1 環境政策課

事業名	ごみゼロあおもり普及啓発事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-3
趣 旨	3R推進に向けて、県民一人ひとりの意識造成のため、食品ロス削減を含めた県民運動をより一層推進する。
主 な 取 組	1. 食べきり推進店の普及 食品ロス削減に取り組む店舗を食べきり推進店とし、認定証を作成・送付した（令和6年12月1日現在：299店舗） 2. 啓発物の作成 3010運動ポスター・リーフレット・卓上ミニのぼり旗、てまえどリスイングポップを作成し、県内の飲食店、スーパー、市町村等へ配布した。（別紙参照） 3. そのほか、県の広報媒体（新聞、ラジオ、毎戸配布紙）を使って、食品ロス削減のための広報を実施した。  3010運動ポスター  てまえどリスイングポップ
今後の取組方向	引き続き食品ロス削減につなげるため、普及啓発を継続する。

事業名	第5次青森県循環型社会形成推進計画策定事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-3
趣 旨	令和7年度に改定する青森県食品ロス削減推進計画（第5次青森県循環型社会形成推進計画の一部として策定。計画期間：令和8年度～12年）の基礎資料として事業系食品ロス実態調査を実施する。
主 な 取 組	本県内の食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業における食品廃棄物量、食品ロス量、食品ロスの内容等の発生状況のほか、食品関連事業者が食品ロスの削減のために行う取組内容等の調査を実施するものとする（約1,000事業者を抽出し、アンケート形式により令和5年度における県全体の食品ロス発生量を推計する。）
今後の取組方向	調査結果は、次期食品ロス削減推進計画の基礎資料とするとともに、本県の食品ロス削減の施策のために活用する。

2 がん・生活習慣病対策課

事業名	栄養改善対策事業「かんたん野菜レシピ普及事業」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-2、1-3、配慮すべき事項2
趣 旨	青森県の成人一人1日野菜摂取量は目標量の350gから70g不足しており、特に若い年代や男性の一人暮らしの摂取量が低いため、簡単に作ることができる野菜レシピの普及により摂取量の増加を図る。
主 な 取 組	1 かんたん野菜レシピの活用による野菜摂取量の増加 青森県食生活改善推進員連絡協議会が県内各地域で実施する料理教室、食生活改善指導等において「かんたん野菜レシピ」の配布および試食提供を実施。 ※開催時期：7月～2月 ・おやこの食育教室：12地区 ・全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト (うち、若者世代：6地区、働き世代6地区) ・その他食生活改善指導等 健診や健康イベント時に試食提供、レシピ配付を実施。  
今後の取組方向	若い年代や男性等を主な対象として、引き続きかんたん野菜レシピを活用し、野菜摂取量の増加を図る。

事業名	減塩対策推進事業「乳幼児健診でのだし活減塩活動」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－1
趣 旨	離乳食の時から薄味に慣れてもらうために、減塩に対する普及啓発とニーズを把握し、減塩対策の推進を図る。
主 な 取 組	1 だしの試飲 健診に参加した保護者予備その子どもに、試供品の試飲を行う。 2 試供品の提供とちらしの配布 試供品と試供品のレシピの付いたチラシを配布し、家での試作を促し、家族へ提供してもらい、家族の減塩体験につなげる。 3 減塩に対するニーズ把握 健診に参加した保護者に対し、だしの活用状況や減塩の工夫などアンケートを行う。 ※4月～3月までに1歳6か月児健診を受診する親子を対象に実施する (約6,000人)
今後の取組方向	子どもの頃からの薄味の定着に向け、引き続き、だしの試飲や減塩の普及啓発を行い、食塩摂取量の減少を図る。



3 食ブランド・流通推進課

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業						
第4次食育推進計画の位置付け	取組1	全て					
	取組2	基本方向1－1、1－2、1－5					
	取組3	基本方向2－1					
	取組4	基本方向2－1					
趣 旨	全県的な食育推進体制の充実のため、「青森県食育推進会議」を設置して本県の食育推進対策についての意見・提言を徴するとともに、食育関係者・団体等による地域の実情に即した食育の推進のため、人材育成活動支援を行う。						
主 な 取 組	取組1 青森県食育推進会議の運営						
	生産、流通から消費、医療、保健、福祉、教育、行政など関係各分野の委員で構成し、食育推進施策について意見・提言を徴する。						
	【開催時期】 令和7年2月3日						
	【場 所】 ホテル青森 「善知鳥」						
	【参 加 者】 45名						
	【内 容】 ・令和6年度の食育に係る主な取組実績について ・第4次青森県食育推進計画の進捗状況について ・令和7年度における県の食育関連の取組について ・第5次食育推進計画の策定について						
	取組2 あおもり食育サポーターの活動支援						
	地域の保育所・学校などにおいて、食に関する講話、郷土料理などの調理実習や農林漁業体験の指導などを実施するボランティアを「あおもり食育サポーター」として登録。						
	保育所・幼稚園、学校、地域等からの要請に応じて食育サポーターを派遣し、食育活動を実施。（事務局：青森中央短期大学に委託）						
	＜参考＞あおもり食育サポーター登録状況（R7.1現在）						
	東青	中南	三八	西北	上北	下北	合計
	38	27	17	9	10	6	107
	取組3 青森県食育指導者研修会の開催						
	あおもり食育サポーター等の食育指導者の資質向上を目的とした研修会を令和7年3月4日(火)に開催予定。						

	取組４ あおもり食育検定運営業務の支援 青森県の豊かな農林水産物や食文化など、「あおもりの食」の素晴らしさを県内外や次世代に伝え、普及啓発の機運を高めるため、「あおもりの食」を中心とした「食」にかかわる知識を問う検定を年１回実施。（あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）主催） 【試験日】 令和６年１１月１０日
今後の取組方向	引き続き食育指導者の育成とその活動を支援し、全県的な食育推進体制の充実を図る。

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域食育ネットワーク協議会の運営
第4次食育推進 計画の位置付け	取組1(東青) 基本方向1-2、1-5
	取組2(中南) 基本方向1-5
	取組3(三八) 基本方向1-5、2-3
	取組4(西北) 基本方向1-5、2-3
	取組5(上北) 基本方向1-5、3-1
	取組6(下北) 基本方向1-5、2-1
趣 旨	地域県民局単位に協議会を設置し、地域の食育推進に係る情報交換及び研修等を実施。
主 な 取 組	取組1 東青地域食育推進ネットワーク協議会の開催 東青地域食育推進ネットワーク協議会を開催し、地域の食育推進に係る情報交換会や研修会を実施する。 【開催時期】令和6年12月4日(水) 【場 所】青森県火災共済会館3階大会議室 【参 加 者】16人 【内 容】 1 事例発表「令和6年度食育活動実践プロジェクトについて」 東青地区農村青少年クラブ連絡協議会 会長 千代谷 将人氏 2 情報交換 (1) 取組紹介 ・食ブランド・流通推進課 主事 山口 奈津紀 ・ネットワーク協議会の各構成機関・団体 (2) 情報交換・その他 取組2 令和6年度中南地域食育ネットワーク協議会研修会 開催時期：令和7年2月12日(水) 対象者：中南地域食育ネットワーク協議会員 内容：1 事例紹介 令和6年度食育活動実践プロジェクト 2 情報提供 県の食育活動の取組について 取組3 令和6年度三八地域食育ネットワーク協議会の開催 (あおもり「みんなの食堂」情報交換会と共催) 期 日：令和7年1月28日(火) 場 所：八戸市総合福祉会館「はちふくプラザねじょう」(八戸市) 内 容：みんなの食堂情報交換会 ～共食の場と応援したい人がつながり、共に分かち合う～ 第一部 事例発表 ヤッサイなんごう友の会、はちのへ未来ネット、 ちょうじゃこども食堂、あおばの会、楽晴会

第二部 パネルディスカッション

「共食の場へのサステナブルな支援」

コーディネーター：弘前大学人文社会科学研究部

教授 李 永俊 氏

パネリスト：事例発表者、三八食育ネットワーク協議
会委員

取組 4 西北地方食育ネットワーク協議会情報交換会

(あおもり「みんなの食堂」情報交換会と共催)

期 日：令和6年12月17日(火)

場 所：五所川原市中央公民館

内 容：みんなの食堂情報交換会

～共食の場と応援したい人がつながり、共に分かち合う～

第一部 事例発表

とりかえっこ Café、憩いの広場ここまる、

第八松還丸、あおばの会、五所川原市社会福祉協議会

第二部 パネルディスカッション

「共食の場へのサステナブルな支援」

コーディネーター：弘前大学人文社会科学研究部

教授 李 永俊 氏

パネリスト：事例発表者、西北地方食育ネットワーク
協議会委員

取組 5 上北地域食育ネットワーク協議会研修会

1 開催時期：令和6年12月10日(火)

2 開催場所：十和田合同庁舎 3階B会議室

3 参加者：15名

4 内 容：

(1) 話題提供

「青森県内の食育の取組について」

講師：県農林水産部食ブランド・

流通推進課 山口 奈津紀

(2) 食育に関する意見交換

各委員や県民局の食育の取組の
紹介、質疑応答など



県内の取組に関する話題提供



意見交換の様子

	取組 6 下北地域ネットワーク協議会による食育の推進 昨年度までは、「攻めの農林水産業」推進下北地方本部会議において取組実績等を説明し、管内市町村と情報共有等を図ることで、地域食育ネットワーク協議会の代替としていたが、今年度は、地域食育ネットワーク協議会を単独開催とし、関係機関との連携強化を図る計画としている。 地域食育ネットワーク協議会の活動を通じて、地域や各団体内の農林、保健、教育等の部署間の連携が更に図られるよう、令和7年2月に開催予定。
今後の取組方向	地域食育ネットワーク協議会の活動を通じて、地域や各団体内の農林、保健、教育等の部署間の連携が更に図られるよう、食育県民運動の円滑かつ効果的な推進を図る。

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域の団体等による食育活動（食育活動実践プロジェクト事業）の実施		
第4次食育推進 計画の位置付け	取組1（東青） 基本方向1－2、1－5		
	取組2（中南） 基本方向1－1、1－5、3－2		
	取組3（三八） 基本方向1－2、3－2		
	取組4（西北） 基本方向1－1、1－5、2－3、3－1		
	取組5（上北） 基本方向1－2、1－5、3－3、配慮すべき事項2		
	取組6（下北） 基本方向1－1、3－1		
	取組7（食ブラ課） 基本方向1－2、1－5、2－3、3－1		
趣 旨	地域における自発的かつ継続的な食育活動を促進するため、地域の 実情に応じた食育活動を地域団体に委託し、実施。		
主 な 取 組	公募により選定した民間団体等への委託事業として実施。		
	県民局等	実施団体	内 容
	東青地域県 民局地域農 林水産部	東青地区青少年ク ラブ連絡協議会 （青森市）	・保育園児への農育活動 ・ラインメール青森FCとの連携によ る選手や来場者への食育活動
	中南地域県 民局地域農 林水産部	Aプロジェクト （弘前市）	・スポーツの場面での栄養に関する講 話や調理講座
	三八地域県 民局地域農 林水産部	認定こども園すぎ のこ保育園 （八戸市）	・園庭の野菜を使った調理講座 ・親子食育料理教室
		さんのへ農産加工 友の会 （三戸町）	・郷土料理のレシピ集作成と調理講座
	西北地域県 民局地域農 林水産部	チームなないろ （つがる市）	・こども食堂でのりんごに関する講話 や、りんごジャムと棒パン作り
	上北地域県 民局地域農 林水産部	おいらせ町食生活 改善推進委員会 （おいらせ町）	・地域児童に対する栄養士による食育 講話と地元食材（大根）を使用した調 理講座
		エコレンジャーセ ブン （七戸町）	・おからの調理講座やワークショップ による食品ロス削減教室 ・郷土料理講座とレシピカードの作成
	下北地域県 民局地域農 林水産部	野菜直売施設 Plow Local Vegetables Shop （むつ市）	・下北食材を使用した調理講座
	食ブランド・ 流通推進課	一般社団法人あお もりウォーズ （青森市）	・漁業や水産物に関する講話、魚食体験 講座
	合 計		9プロジェクト

取組 1 東青地域県民局地域農林水産部

【実施団体】 東青地区農村青少年クラブ連絡協議会

【内容】

(1) 保育園等のこどもと農業の関わりに関するアンケート調査

- ア 対象 東青地域管内の保育園等 123 園を対象
- イ 実施期間 令和 6 年 8 月 1 日～9 月 20 日
- ウ 集計分析 49 園から回答があり、実態や要望を把握

(2) 保育園児への農育活動

- ア 対象 浦町保育園（青森市） 年長児 34 名
- イ 協力 ラインメール青森 F C（選手が参加し一緒に実施）
- ウ 内容 クラブ員が作った野菜苗をプレゼント、園庭に野菜苗を定植（5 月 31 日）、えだまめ収穫会（8 月 9 日）、ミニトマト農家のお仕事紹介、ミニトマトプレゼント、スイカ割りなど（8 月 23 日）

(3) ラインメール青森 F C の選手への農育活動

～東青農業の魅力を伝える～

- ア 対象 県外出身のラインメール青森 F C の選手
- イ 内容 ねぎ収穫会（9 月 27 日）

(4) ラインメール青森 F C 試合来場者への食育活動

ア 消費者アンケートの実施

(ア) 対象 ラインメール青森 F C 試合来場者

(イ) 方法 観戦者に対しアンケート用紙を配布。回答者にクラブ員の農産物をプレゼント（10 月 6 日）

(ウ) 集計分析 182 名から回答があり、実態や要望を把握

イ クラブ員が作った野菜苗のプレゼント

～農を楽しむきっかけづくり～

(ア) 対象 ラインメール青森 F C 試合来場者

(イ) 内容 ミニトマト苗・バジル苗 280 ポット（5 月 19 日）
ミニトマト苗・ジニア苗 300 ポット（6 月 9 日）

ウ クラブ員が作った農産物のプレゼント

～農と食の魅力を伝える～

(ア) 対象 ラインメール青森 F C 試合来場者

(イ) 内容 ミニトマト、りんご、ねぎ 350 セット（10 月 6 日）

(5) 農育活動のための学習会

ア 対象 東青地区農村青少年クラブ員他

イ 内容 飲食店関係者による地元農産物を使った調理実習を行い、消費者への P R ポイントを学ぶ（2 月予定）

取組２ 中南地域県民局地域農林水産部

【実施団体】 Aプロジェクト

【取組目的】

「食事づくり」を考えていくことが各家庭でできる「食育」と考え、スポーツを行っている人や健康な体づくりのためにスポーツを楽しんでいる人に対して、食育活動を行いながら、さらに運動習慣のない人への裾野を広げ、健康づくりの基本となる食に関する正しい知識の普及や選択力をつけるためのアプローチを行う。それによって健康で活力のある地域を目指すことを目的とする。

【内容】

(1) 収穫体験

ア 開催日：令和6年7月27日

イ 場 所：ASUPARA FARM（黒石市）

ウ 参加者：スポーツを行っている小学生親子（31名）

エ 内 容：アスパラガスの収穫体験とアスパラガスの栄養説明、体験後各家庭でアスパラガス料理作り

(2) 体験講座

ア 開催日：令和6年9月14日～15日

イ 場 所：城東閣（弘前市）

ウ 参加者：会場来場者

エ 内 容：野菜や果物の摂取量測定、ベジチェック体験

(3) 講座

ア 開催日：令和6年9月16日

イ 場 所：セントラルフィットネスクラブ弘前

ウ 参加者：スポーツを行っている者

エ 内 容：「エイド食」の体験発表、「スポーツ栄養学」の講義

(4) 料理教室

ア スポーツを行っている人のためのメニュー

（ア）開催日：令和6年12月14日

（イ）場 所：清水交流センター（弘前市）

（ウ）参加者：小学生

（エ）内 容：弘前市のサッカークラブ「ブランデュー弘前FC」の選手と一緒に、魚を使ってたんぱく質を主に摂取するためのメニュー作り。

イ おにぎり教室

（ア）開催日：令和7年1月11日

（イ）場 所：りんご公園りんごの家研修室（弘前市）

（ウ）参加者：スポーツを行っている小学低学年と保護者30名

（エ）内 容：食の大切さの講話、おにぎりづくり

取組３ 三八地域県民局地域農林水産部

(１) 認定こども園すぎのこ保育園（八戸市）

「食べる力」＝「生きる力」を育む食育

【内容】

ア ピザづくり体験の実施

- ・期日：令和６年７月１８日
- ・場所：すぎのこ保育園（八戸市）
- ・対象：すぎのこ保育園 年長児 ２４名
- ・内容：園庭の野菜を使ったオリジナルピザ作り

イ 親子食育料理教室の実施

- ・期日：令和６年１１月３０日
- ・場所：根岸公民館（八戸市）
- ・対象：すぎのこ保育園
年長～年中児 親子１３組
- ・内容：親子食育料理教室
講師：食育料理家
なぎさなおこ氏



親子食育料理教室

（お弁当づくり）

(２) さんのへ農産加工友の会（三戸町）

「三戸の味を伝え継ぐプロジェクト」

【内容】

ア 「三戸の味」郷土料理レシピ集の作成

「あおもり食命人」や三戸町役場栄養士と連携してレシピ集を作成

イ 郷土料理講座の開催

- ・期 日：令和６年１１月２１日
- ・場 所：小中一貫三戸学園 小学校（三戸町）
- ・対 象：小中一貫三戸学園 小学２年生 ４９名
- ・内 容：「なべこだんご」と「手打ちうどん」作り体験



なべこだんごと手打ちうどん作り

取組４ 西北地域県民局地域農林水産部

【実施団体】 チームなないろ

【目的】 誰でも参加でき、人とつながり笑顔になれる居場所づくり
と、地域の「食に」触れる機会を提供する。

【内容】 こども食堂「憩いの広場ここまる」の開催

開催日：令和６年１０月２７日

場 所：北部コミュニティセンター（五所川原市）

参加者：５５人（大人２３人、子ども３２人）

内 容：・りんごに関する講話

（講師 株式会社 SATO FARM 佐藤恵美）

・りんごジャムや棒パンの調理体験

・調理後の交流食事会



講話の様子



調理体験の様子

取組5 上北地域県民局地域農林水産部

(1) おいらせ町食生活改善推進員会（おいらせ町）

ア 開催日：令和6年9月2日、9月5日

イ 場 所：おいらせ町立甲洋小学校

ウ 参加者：3、4年生

エ 目 的：地域児童が地元食材を活用した食育を通じて、食への関心を高め感謝の心を育む。

オ 内 容：

①食の大切さについて栄養士講話

②食生活改善推進員が教える大根調理

など



切干大根の調理

(2) エコレンジャーセブン（七戸町）

ア 食品ロス削減教室の開催

(ア) 開催日：令和6年10月5日、10月14日

(イ) 場 所：七戸町、十和田市

(ウ) 参加者：2回 計30組

(エ) 目 的：食品ロスの現状を知り、ワークショップを通して食品ロス削減への取組を推進する。

(オ) 内 容：

①廃棄量の多いおからを用いた「おから味噌」の調理実習

②食品ロスの現状を知り、食材を無駄なく使う暮らしについて意見交換



おから味噌づくり

イ 「つなごう郷土の味」教室の開催、レシピカードの配布

(ア) 開催日：令和6年11月30日、
令和7年1月9日

(イ) 場 所：十和田市、七戸町

(ウ) 参加者：2回 計30名（予定）

(エ) 目 的：郷土の味を学び、味わうことで地域の食文化を伝承する機会とする。



なべっこ団子と豆しとぎ

(オ) 内 容：

①郷土の味（なべっこ団子、豆しとぎ）の調理実習

②レシピカードを作成し、公民館等に配布（予定）

取組6 下北地域県民局地域農林水産部

地域における自発的かつ継続的な食育活動を推進するために、地域のコミュニティの場となっている直売施設に委託を行った。

【実施団体】野菜直売施設「Plow Local Vegetables Shop」

【取組目的】子育て世代や児童・生徒等に対する地元農林水産物への理解促進及び「地域の食」を通じた新たなコミュニティの場の創出を目指す。

【内 容】下北産食材を使った料理教室の開催（2回）

使用した食材の産地の説明、調理のコツ、好き嫌いをなくす方法などを説明しながら、下北の旬の農林水産物を使ったパエリアと野菜スープを作った。

【開 催 日】令和6年9月29日（日）：親子対象

令和6年10月6日（日）：一般対象

【場 所】代官山公園オープンスペース（むつ市）

【参 加 者】親子料理教室 6組15名

一般料理教室 10名



親子で調理する様子



講師の説明を聞く参加者

	取組 7 食ブランド・流通推進課 【実施団体】一般社団法人あおもりウォーズ 【取組目的】幼保育園児や小学生等に対し、漁師自らが、魚の獲り方や食べ方など様々なアプローチを行い、楽しく魚食について学ぶ機会を創出する。青森県の自然の豊かさを誇りに思う気持ちを育めることや、魚食が普及されることで将来的な健康促進、県産水産物の消費拡大、漁業について消費者へ啓発する。 【内容】世代に応じて、青森県の漁業や魚についての絵本による読み聞かせや動画による紹介、魚捌き体験（ホタテ剥き等）などの一連の体験教室として実施する。
今後の取組方向	引き続き、地域での自発的かつ継続的な食育活動の実施により、地域における食育を推進する。

事業名	みんなが食育アクション事業																		
第4次食育推進計画の位置付け	取組 1-(1)	基本方向 1－1、3－1、配慮すべき事項 1																	
	取組 1-(2) ア	基本方向 1－2、3－1																	
	取組 1-(2) イ	基本方向 1－2、3－2																	
	取組 1-(2) ウ	基本方向 1－2、3－2																	
	取組 1-(2) エ	基本方向 1－5、2－1、2－3																	
	取組 1-(3)	基本方向 1－3、2－1、配慮すべき事項 1																	
	取組 1-(4)	基本方向 1－3、1－4、3－1																	
	取組 1-(5)	配慮すべき事項 1																	
	取組 2	基本方向 2－1																	
	取組 3	基本方向 1－5、2－3、3－1、3－3、 配慮すべき事項 2																	
取組 4	基本方向 1－2																		
趣 旨	県民が健全な食生活を生涯にわたって実践していくため、あらゆる世代で食育活動を展開するとともに、食育活動を担う指導者の育成と、共食の場に対する支援を行う。																		
主 な 取 組	取組 1 県民のライフステージに対応した食育																		
	(1) 子育て世代対象のオンライン食育講座																		
	主に就学前の子どもを育てる世代を対象に、食育の知識を深め、家庭での調理や家族で食卓を囲む機会を促す5種類の食育動画を作成し、YouTube で配信予定。																		
	(2) ライフステージごとの食育講座																		
	ア 農業高校生等による園児対象の食農体験会																		
県内農業高校において、生徒が講師となり、園児を対象とした農作業体験及び調理・加工体験を実施。																			
<table><tr><td>実施校</td><td>対象</td><td>第1回目</td><td>第2回目</td></tr><tr><td>県立五所川原農林高等学校</td><td>かしわこども園 (つがる市)</td><td>枝豆収穫体験 (令和6年9月24日) 園児28名参加</td><td>りんごジュース製造体験 (令和6年11月12日) 園児28名参加</td></tr><tr><td>県立柏木農業高等学校</td><td>町居こども園 (平川市)</td><td>りんご収穫体験 (令和6年11月14日) 園児22名参加</td><td>りんごケーキづくり体験 (令和6年12月16日) 園児6名参加</td></tr><tr><td>計2校</td><td>計2園</td><td colspan="2">計4回</td></tr></table>				実施校	対象	第1回目	第2回目	県立五所川原農林高等学校	かしわこども園 (つがる市)	枝豆収穫体験 (令和6年9月24日) 園児28名参加	りんごジュース製造体験 (令和6年11月12日) 園児28名参加	県立柏木農業高等学校	町居こども園 (平川市)	りんご収穫体験 (令和6年11月14日) 園児22名参加	りんごケーキづくり体験 (令和6年12月16日) 園児6名参加	計2校	計2園	計4回	
実施校	対象	第1回目	第2回目																
県立五所川原農林高等学校	かしわこども園 (つがる市)	枝豆収穫体験 (令和6年9月24日) 園児28名参加	りんごジュース製造体験 (令和6年11月12日) 園児28名参加																
県立柏木農業高等学校	町居こども園 (平川市)	りんご収穫体験 (令和6年11月14日) 園児22名参加	りんごケーキづくり体験 (令和6年12月16日) 園児6名参加																
計2校	計2園	計4回																	



枝豆収穫（五所川原農林高校）



りんご収穫（柏木農業高校）

イ あおもり食命人による児童・生徒対象の調理講座

小・中学校にあおもり食命人を派遣し、「地元の食材で料理をつくろう」をテーマに、食の知恵やマナー、地産地消などを学ぶ調理実習を実施。

実施校（参加者）	開催日	内容
横浜町立横浜中学校 (2年生 31名)	令和6年 10月8日	鯛めし、ホタテのクリーム煮 他
藤崎町立藤崎中学校 (2年生 54名)	11月28日	鱈の白菜クリーム煮、りんごサラダ、けの汁
十和田市立藤坂小学校 (6年生 17名)	12月10日	しじみのクリームチャウダー風、鮭ホイル焼き 他
五所川原市立東峰小学校 (4年生 9名)	12月16日	ホタテのクリームシチュー、りんごのサラダ 他
青森市立甲田中学校 (1、2年生 16名)	12月24日	赤魚のチャイニーズアクアパッツァ 他
八戸市立江陽中学校 (3年生 34名)	令和7年 1月21日	
計6校 161名		



あおもり食命人による調理講座の様子

ウ 高校生対象の自炊塾

進学・就職等で一人暮らしをする可能性のある高校生の健全な食生活を支援するため、食材の活用や自炊方法について調理実習講座を開催。

実施校（参加者）	開催日	内容	講師
柏木農業高等学校 (生活科学科 3年生 14名)	令和6年 10月9日	一汁三菜と 郷土料理	小林潤子氏 (野菜くだもの料理教室主宰、野菜ソムリエプロ)

三本木農業恵拓高等学校 (普通科地域観光コース3年生 31名)	10月18日	おにぎり弁当作り	中村陵子氏 (あおもり食命人、野菜ソムリエプロ)
弘前学院聖愛高等学校 (普通科3年生 53名)	11月13日	野菜をおいしく食べよう！	小林潤子氏 (野菜くだもの料理教室主宰、野菜ソムリエプロ) 木村圭司郎氏 (あおもり食命人)
田名部高等学校 (定時制課程3年次 13名)	11月18日	下北の食材で超本格的カレー作り	野呂浩子氏 (ヒロクッキングサロン主宰)
八戸東高等学校 (家庭部12名)	12月23日	一人暮らしの食事にも県産品を！	福土るみ子氏 (料理研究家、管理栄養士)
計5校 123名			



自炊塾の様子

エ 「共食の場」のニーズに応じた食育出前講座

「共食の場」(子ども食堂、高齢者サロン等)での食育活動を推進していくため、講師を派遣し、食育講座を実施。

団体名	区分 ※	開催日 (参加者)	内容	講師
若がえろう会 (弘前市)	高	令和6年 11月6日 (8名)	免疫力がつくメニュー (調理講座)	斎藤明子氏 (弘前市食生活改善推進員会 会長)
油川地区民生委員児童委員協議会 (青森市)	高	12月21日 (58名)	食事と健康 (講話)	伊藤恵美子氏 (柴田学園大学生生活創生学部健康栄養学科 准教授)
金樹サロン (弘前市)	高	令和7年 1月10日 (17名)	地域に伝わる郷土料理 (調理講座)	斎藤明子氏 (弘前市食生活改善推進員会 会長)
一本松イキイキサロン	高	1月23日 (15名)	地域に伝わる郷土料理	中村陵子氏 (あおもり食)

(十和田市)			(調理講座)	命人、野菜ソムリエプロ)
「みんなの食堂」おいでえる (弘前市)	子	2月1日 (30名)	子どもでも簡単に調理できる郷土料理とアレンジレシピ (調理講座)	斎藤明子氏 (弘前市食生活改善推進員会 会長)
あおば自治会 (弘前市)	高	2月16日 (15名)	バランスのとれた食事で健康に (講話)	斎藤明子氏 (弘前市食生活改善推進員会 会長)
計6回 ※高：高齢者サロン 子：子ども食堂		計143名		



食育講座の様子

(3) 働き盛り世代への食育活動

ア 管理栄養士による働き盛り世代対象の企業の食生活改善セミナー

社員を対象に健康的な食生活に関する研修会を行う企業に、講師として管理栄養士を派遣。

企業名・参加者数	開催日	テーマ・講師
株式会社アオケン (青森市) 7名	令和6年 12月12日	・健康な食生活へ改善できる様々なアドバイス 管理栄養士 舘山安貴奈氏
株式会社工藤組 (七戸町) 38名	12月19日	・生活習慣病予防 ・規則正しい食習慣 ・飲酒に関するアドバイス 管理栄養士 成田真澄氏
青森県火災共済協同組合 (青森市) 23名	12月20日	・健康になるためのバランスの良い食事 ・生活習慣病の予防 管理栄養士 赤石萌華氏
株式会社スズキ自販青森 (青森市) 15名	令和7年 1月9日	・バランスの良い食事メニュー ・生活習慣病の予防 管理栄養士 大谷亨子氏
株式会社青森電子計算センター (青森市) 40名	1月10日	・健康意識の低い部下へのアプローチの仕方 管理栄養士 白山八千代氏

株式会社ジェイテック (六ヶ所村) 20名	1月15日	・飲酒に関するアドバイス ・生活習慣病の予防と改善 ・朝食を食べない社員へのアドバイス 管理栄養士 小玉恵美子氏
六ヶ所原燃警備株式会社 (六ヶ所村) 20名	1月17日	・不規則な生活での身体に良い食事及び食生活改善方法 ・生活習慣病の予防のための食事 ・飲酒に関するアドバイス 管理栄養士 川口朝子氏
株式会社清水電気 (八戸市) 24名	1月31日	・生活習慣病の予防 管理栄養士 松浦遥氏
三浦建設工業株式会社 (八戸市) 100名	2月6日	・食から健康 管理栄養士 川口朝子氏
青森設備工業株式会社 (青森市) 10名	2月28日	・飲酒に関するアドバイス ・生活習慣病の予防と改善 ・禁煙について 管理栄養士 成田真澄氏
計10社297名		



食生活改善セミナーの様子

イ 社員の食生活改善オンラインセミナー

集合型講座に参加できない夜勤や不規則な勤務形態の社員向けに動画3本を制作し、動画視聴型の講座を実施。(1～3月)

(4) 「野菜＋果物」摂取啓発

ア 「野菜＋果物たっぷり食べよう！」キャンペーンの実施

産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選択する意識付けと、野菜と果物の摂取量向上を図るため啓発キャンペーンを実施。

- ・「地産地消で元気あおもり」県民運動協力店のうち野菜販売店への啓発ポスター配布(197店舗)
- ・SNS広告(YouTube、Instagram)の配信
- ・店舗での電子ポップ設置及び啓発資材配布による普及啓発(15店舗)
- ・コンビニ(ローソン)店舗でのポスター掲示(285店舗)



イ 県産品愛用応援キャンペーン連動企画

県産品愛用応援キャンペーンとの協力開催として、「野菜・果物賞」を設定し、50名に野菜や果物が当たる連動企画を実施。

(5) YouTube 等のウェブ活用による情報拡散

食育に関する理解を深め、実践に向けた意識啓発につなげるため、制作した食育動画や野菜と果物の摂取を促す広告などを YouTube や SNS を活用し、広く周知。

取組 2 食育指導者の育成

(1) 食育サポータースキルアップ講座

食育サポーターを対象に、派遣要請が多い未就学児を対象とした食育活動を実施するにあたっての技術や実践力を習得する講座を開催。

【参加者】 5 名

	開催日	テーマ・講師
1	令和6年 9月3日	・講義：青森県の子どもの健康について（現状と課題） ・ポートフォリオの作成 青森県立保健大学 熊谷貴子氏 青森中央短期大学 森山洋美氏
2		・講義：子どもの発達と望ましい支援について 青森中央短期大学 松浦淳氏
3	9月4日	・保育施設見学 ・意見交換 青森中央短期大学 木村亜希子氏、森山洋美氏
4		・演習：子どもへの適切な声かけやサポートについて ・演習：子どもと一緒にできる簡単な遊びについて ・演習：絵本の読み聞かせについて 青森中央短期大学附属第一幼稚園教諭 畑山朗詠氏
5	9月9日	・講義・演習：食育教材の作り方について 青森中央短期大学 木戸永二氏
6	9月10日	・講義・演習：指導計画の立て方について 青森中央短期大学 木村亜希子氏、森山洋美氏
7		・講義・演習：指導計画の作成について 青森中央短期大学 木村亜希子氏、森山洋美氏
8		・講義・演習：食育活動実演に向けた練習と振り返り 青森中央短期大学 木村亜希子氏、森山洋美氏
9	9月12日	・実習：保育施設での食育活動の実演 青森中央短期大学 森山洋美氏
10	9月17日	・演習：食育活動の振り返りと意見交換 青森中央短期大学 木村亜希子氏
計10回		



スキルアップ講座の様子

(2) 食育指導者向け「野菜＋果物」研修会

食育指導者を対象に、県民の野菜と果物の摂取量増加に向けた取組を実施する場合の知識や調理技術を習得するための研修会を青森市内で令和7年3月4日(火)に実施予定。

取組3 「共食の場」ネットワークづくりの支援

農林水産業で発生する未利用農林水産産物(規格外品等)の「共食の場」における利用促進や、「共食の場」の拡大・継続に必要なネットワークづくりを図るため、セミナー及び情報交換会を開催。

- ・あおもり「みんなの食堂」と農林水産業のネットワークの概要
(令和3年1月18日設立)

【活動内容】

- (ア) 「共食の場」へ提供可能な食材の情報収集と提供(マッチング)
- (イ) 会員の活動に必要な情報提供
- (ウ) その他、必要な活動

【会員数】 「共食の場」運営団体、生産者等 49団体

【実績】 令和6年度マッチング件数 2件
(令和7年1月現在)

(1) あおもり「みんなの食堂」応援セミナー

ア 開催日 令和6年7月23日

イ 内容

講演 「食育推進の取組及び東北地域における共食の場での食育活動について」 (東北農政局)

情報提供 「青森県内の共食の場で必要としている支援について」
(社会福祉協議会)

情報提供 「あおもり『みんなの食堂』と農林水産業のネットワークについて」 (当課)

ウ 参集範囲

農協、漁協、産直施設、食品加工企業等 (参加者33名)

(2) あおもり「みんなの食堂」情報交換会

ア 開催日 令和6年12月17日（五所川原会場）
令和7年1月28日（八戸会場）

イ 内容

子ども食堂等運営団体、食材提供者、地域の食育関係者等による事例発表及びパネルディスカッション

ウ 参集範囲

農協、漁協、産直施設、食品加工企業等、みんなの食堂運営団体、地域食育ネットワーク協議会等

（参加者：五所川原会場44名、八戸会場34名）

取組4 「ふるさと産品給食の日」の実施

学校給食において県産食材を数多く使用したメニューが提供される11月の「ふるさと産品給食の日」（青森県学校栄養士協議会主催）に併せて、県産食材（ごぼう、ながいも、にんじん、ほたて、いかの5品目）を紹介する動画を収録したDVD（YouTubeでも視聴可能）と動画で紹介した食材について親子で作れる簡単な料理レシピを掲載した冊子を作成し配付。

対象：小学校高学年（5～6年生）

配付先：県内全ての小学校（特別支援学校を含む）



県産食材紹介動画



冊子（おうちでかんたん！レシピ）

今後の取組方向

引き続き、県民が健全な食生活を生涯にわたって実践できるよう、関係部局・関係団体等との連携・協力により、食育の取組を推進していく。

事業名	学校給食あおり産品供給・利用拡大事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－2
趣 旨	学校給食における県産食材の利用拡大に向けて、学校栄養士を対象とする研修やメニュー提案、県産加工品のPRを行った。
主 な 取 組	1 地元産品活用促進セミナー 学校栄養士を対象に、地元の野菜や果樹に対する理解を深めてもらうため、農業生産現場を見学する現地研修会を開催 【実施日】令和6年7月29日 【場 所】五戸町倉石、南部町下名久井 【参加者】栄養教諭等16名 2 県産食材を使用した加工品のPR 青森県学校栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会において、県産農林水産物を使用した学校給食向け加工品のPRを実施。 （試食・展示会なし、資料提供） 【実施日】令和6年12月26日 【場 所】青森県総合社会教育センター 【参加者】栄養教諭等 約80名 【加工品】7商品 
今後の取組方向	関係団体と連携しながら、学校給食における県産食材の利用率向上に向けた取組を継続する。

事業名	「だし活」を活用した地産地消推進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-3、1-4
趣 旨	県産素材の活用と減塩総菜等を開発するとともに、企業等と連携して「だし活+だす活」を周知し、地産地消の推進と減塩の意識啓発に取り組んだ。
主 な 取 組	1 商標「だし活」を使用した総菜等の開発 県内企業等による、青森県産素材を活用しだし商品及び減塩商品の開発・販売9商品 2 県民への「だし活+だす活」と地産地消のPR (1) 出前トーク等でのPR ・市町村・学校・団体等でのPR 12回   (2) 包括連携協定締結企業とのPR ・(株)セブンイレブン・ジャパン（「だし活+地産地消で元気あおりフェア」） ・日本郵便(株)東北支社（「だし活+だす活」×年賀状作成教室） (3) 青森県だし活協議会と連携したPR ・スーパー店頭、イベント出店により、県産素材を使用しただし商品「できるだし」とともに「だし活+だす活」をPR 15回  
今後の取組方向	県産食材の活用と併せて手軽に美味しく食することができる減塩総菜等の開発を促進するとともに、企業等と連携して「だし活+だす活」を周知し、地産地消の推進と減塩の意識啓発に向けた取組を継続する。

4 畜産課

事業名	持続可能な酪農経営基盤強化対策事業		
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3－1		
趣 旨	将来の畜産人財となりうる世代を対象に、現場見学研修を実施し、畜産業へのイメージを高め、本県畜産業への就労を促進する。		
主 な 取 組	県内の小中学生及び高校生に対し、食鳥処理及び鶏肉加工施設や畜産農場等の見学研修を実施した。		
	日付	研修名	場 所
	6/13	肉用牛・乳用牛	青森県産業技術センター 畜産研究所
	7/9	食鳥処理及び 鶏肉加工施設 見学	プライフーズ（株）細谷 工場・細谷プロセスセン ター（三沢市）
	11/1 2	と畜・加工施設 見学	IH ミートパッカー十和田 ビーフプラント、十和田ミ ートプラント（十和田市）
	 食鳥処理施設等見学研修  と畜・加工施設見学研修		
今後の取組方向	次年度も同様の取組を継続し、畜産業への理解醸成を図り、畜産業への就労を促進する。		

5 農村整備課

事業名	中山間地域ふるさと活性化事業（H5～）
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3－1
趣 旨	中山間地域における農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図ることを目的とした、地域住民活動を推進する人財の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の活動に対して支援等を行った。
主 な 取 組	1 米づくりに必要な農業用水や農業水利施設の役割を学ぶための見学会等の実施に対する支援 2 取組事例 （1）実施主体 青森北部土地改良区、青森第二北部土地改良区、奥内土地改良区 （2）開催時期 令和6年6月13日 （3）場 所 青森市 （4）対 象 者 青森市立北小学校5年生 （5）参加人数 24名 （6）内 容 等 ア 農業水利施設の見学や役割の学習 イ ため池に棲む生き物調査   農業水利施設の見学 生き物調査
今後の取組方向	中山間地域の活性化を図るため、次年度も同様の取組を継続し、地域住民活動等を推進・支援する。

6 スポーツ健康課

事業名	学校給食レシピコンテスト
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－2
趣 旨	地場産物を活用した食育を推進するとともに、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイディアを活かした料理のレシピのコンテストを行う。
主 な 取 組	募集期間 令和6年5月7日～9月24日 対象者 小学校、中学校及び特別支援学校の児童生徒 応募数 小学校の部 15校 186点 中学校の部 16校 495点 特別支援学校の部 5校 16点 県教育委員会、公益財団法人青森県学校給食会をはじめとする主催者等において書類審査及び試食審査を実施し、最優秀賞及び優秀賞を決定。入賞レシピを県教育委員会及び公益財団法人青森県学校給食会ホームページに掲載し、学校給食等への活用を啓発している。また、各協賛団体より県産食材を副賞として入賞者へ贈呈した。
今後の取組方向	引き続き、地域の小学校・中学校・特別支援学校、家庭や地域社会が一体となり、児童生徒が郷土の食文化への理解を深められるような取組の推進を図る。

事業名	体育・食育の楽しさアップ研修会
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－2
趣 旨	本県のこどもたちの健康課題解決のために、小学校中学年担任等を対象に、小学校学習指導要領に則った「楽しい体育」の実現と「食に関する指導」の具体的な授業構成及び指導方法について体験的に研修を行い、小学校教職員の資質向上を図る。
主 な 取 組	【講義演習】 講義 小学校中学年における楽しい食育の指導 講師 武庫川女子大学 藤本 勇二 氏 演習 簡単な朝食づくり「おにぎりともそ玉」 ①開催日 令和6年8月19日（月） 対象者 下北地区の小学校中学年担任等（各校1名悉皆） 参加人数 小学校教諭等18名、栄養教諭等4名 ②開催日 令和6年8月20日（火） 対象者 上北地区の小学校中学年担任等（各校1名悉皆） 参加人数 小学校教諭43名、栄養教諭等13名 ③開催日 令和6年8月21日（水） 対象者 三八地区の小学校中学年担任等（各校1名悉皆） 参加人数 小学校教諭17名、栄養教諭17名
今後の取組方向	令和7年度は、東青、西北、中南地区の小学校高学年担任等（各校1名悉皆）及び栄養教諭等（希望者）を対象に研修会を実施予定。



事業名	食に関する健康課題対策支援事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－2
趣 旨	栄養教諭の食に関する個別指導力を一層向上させるため、経験豊富な栄養教諭等を指導者として学校へ派遣し、個別指導に必要とされる資質・能力を身に付けられるよう、栄養教諭に対して指導・助言を行い、地域の実情に応じ様々な健康課題に柔軟に対応するための栄養教諭の個別指導力の一層の向上を図るとともに、児童生徒の食に対する意識の向上を目指す。
主 な 取 組	1 食に関する健康課題対策支援事業全体研修会への指導者の参加 2 食に関する健康課題対策委員会の開催 3 食に関する健康課題対策研修会の開催 4 実践校への指導者の派遣 小学校3校における個別的な相談指導（取組テーマ：肥満）を実施。 5 食に関する個別指導の実践指導報告会の開催
今後の取組方向	引き続き、本事業を実施することで、地域の実情に応じた児童生徒の健康課題に対応する栄養教諭の個別指導力の向上及び児童生徒の食に関する意識の向上を目指す。

7 下北地域県民局地域農林水産部

事業名	地区農業士会活動推進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2、2-3
趣 旨	田名部高校PTAが中心となり、教職員の交流の場として開催している「そば打ち体験」において、そば粉を活用した「ガレット」づくりを行い、①東通村特産であるそば粉の更なる可能性を探るとともに、②家庭への普及をとおして食育の推進を図った。
主 な 取 組	【開催日】令和6年11月30日（土） 【場 所】東通村大利地区ふるさと伝承館 【参加者】県立田名部高等学校PTA及び教職員 【内 容】田名部高校PTAでは、郷土料理への理解を深める場として、「そば打ち体験」を実施しているが、これと併せて東通村産のそば粉を使用した「ガレット」づくり体験も行った。ガレットのソースには東通村産ほうれんそうを、トッピングには東通村産のたまねぎ、ピーマン及びパプリカを使用した。  トッピングしている様子  東通村産のトッピング材料
今後の取組方向	来年度も継続して体験の場を提供する。

事業名	地区農業士会活動推進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1－5、3－1
趣 旨	下北産の食材を用いたピザづくりをとおして、地域活性化と地産地消を推進する「しもきたマルシェの会」の取組を支援した。
主 な 取 組	令和6年7月14日（日）に、「しもきたマルシェの会」の会員である飲食店の指導のもと、「下北ジオパーク」のロゴマークにちなんだ5種類の下北産食材を、高校生・大学生ボランティア4名の協力を得て、ピザにトッピングし、「むつ下北地区指導農業士会」が2台の特製ピザ釜で焼き上げた。 57組の来場者があり、ピザづくりを楽しみながら、地元の食材への理解を深めた。 参加者が具材を盛り付け ピザ釜で焼き上げている様子
今後の取組方向	今後も産直市「しもきたマルシェ」において、消費者を対象とした調理体験教室を開催し、地産地消を啓発していく。

事業名	令和6年度農山漁村女性の経営参画推進普及事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-2
趣 旨	郷土料理を現代風にアレンジすることにより、郷土料理への親近感を向上させるとともに、野菜摂取量の増加を図った。
主 な 取 組	【開催日】令和6年11月18日（月） 【場 所】むつ市中央公民館 【参加者】下北管内VIC・ウーマン6名 【内 容】講師の斉藤とまえ氏が令和5年に作成した「下北旬野菜と郷土料理の本」から、「いか寿司風サラダ」と「きんかもち」の調理実習を行った。 もちをこねている様子 いか寿司風サラダときんかもち
今後の取組方向	郷土料理の情報発信や、農山漁村女性による地域活動の取組について支援していく。